

登録コード	E2901900	開講年度	2026			
授業科目	英語学				担当教員	田中 江扶
英文授業名	English Linguistics I				副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・2時限	対象学生
講義室	教育N 3 0 1 講義室	授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				英語学の知見を英語の授業に活かす力をみにつける	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				英語学の知見を活かし学校文法のよりよい説明ができるようになる	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	本演習では、論文のコピーを課題として読んできて、内容に関するdiscussionを行う。 また、中学・高校の教科書で扱われている英文および文法事項の分析も行う。					
(5)授業計画	第1回：ガイダンス、理論言語学について 第 2 回：統語論（品詞論） 第 3 回：統語論（構造） 第 4 回：教材研究（学校文法と統語理論） 第 5 回：意味論（語彙構造） 第 6 回：意味論（語の意味と文法の関係） 第 7 回：教材研究（学校文法と意味理論） 第 8 回：機能論（情報構造） 第 9 回：機能論（コンテキストと文法の関係） 第10回：教材研究（学校文法と機能理論） 第11回：語用論（会話の公理） 第12回：語用論（意図） 第13回：教材研究（学校文法と語用理論） 第14回：X ' 理論と言語習得 定期試験・アンケート					
(6)成績評価の方法	以下を総合して判定する。 ・最終試験（70%）、課題(論文のまとめ)（30%） 評価割合は若干の調整を行うことがある。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可					
(7)成績評価の基準	授業で扱った例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、例題から難しい応用問題が解ければ「卓越している」					
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業で扱うテーマで議論をしてもらうため、毎回文献を調査してまとめてから授業に臨むこと。					
(9)履修上の注意	期末テストとして筆記試験を行う。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	基本的に平日の9時から18時に研究室(N230)にいます。 メールアドレス：kout@shinshu-u.ac.jp					
【教科書】	最初の授業の際に指示。適宜、論文を配布					
【参考文献】	授業で随時、紹介する。					